

第1回 地域力創造拠点施設整備基本計画 検討懇話会

日時:令和8年6月1日(月) 14:00～

場所:金沢市役所第二本庁舎 3階2301会議室

次第

1. 開 会

2. 市長挨拶

3. 座長選任

4. 議 事

(1)事務局からの資料説明

(2)意見交換

5. 閉 会

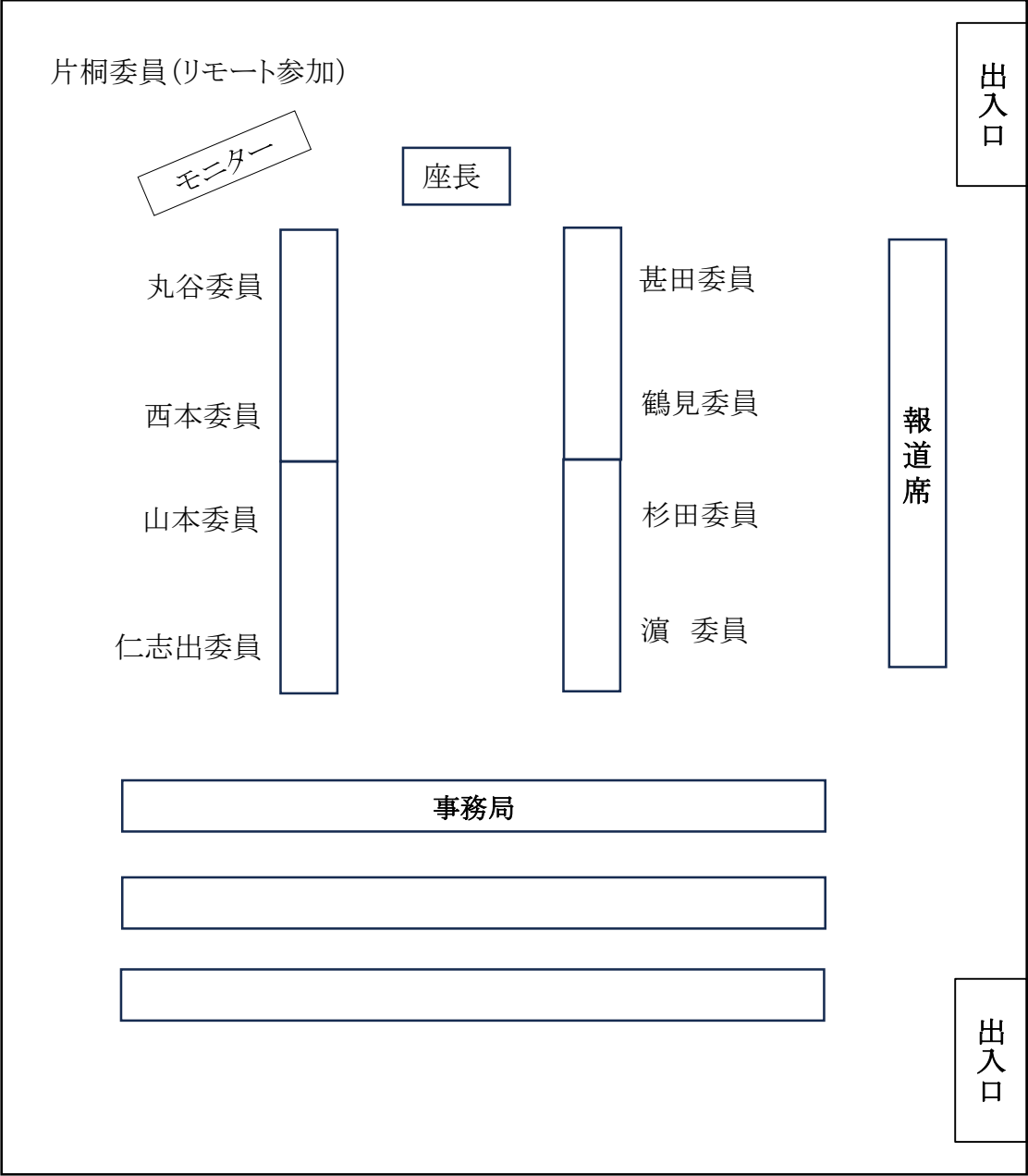
委員名簿

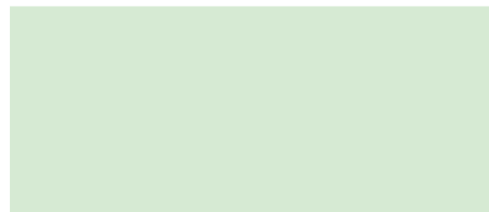
(敬称略)

氏名	団体・役職
丸 谷 耕 太	金沢大学融合研究域融合科学系 准教授
片 桐 由希子	金沢工業大学工学部 准教授
西 本 耕 喜	金沢美術工芸大学デザイン科 准教授
山 本 修	公益社団法人大学コンソーシアム石川 事務局長
仁志出 憲 聖	株式会社ガクトラボ 代表取締役
杉 田 七 海	金沢まちづくり学生会議 代表
濱 芽 吹	未来へつなぐ金沢行動会議 委員
甚 田 和 幸	新竪町地区町会連合会 会長
鶴 見 あゆみ	新竪町公民館 館長

事務局 都市政策局企画調整課

座席図





第1回地域力創造拠点施設 整備基本計画検討懇話会

令和8年6月1日
金沢市



1. 検討懇話会について
2. 旧新豎町小学校跡地の概況
3. これまでの経緯
4. 基本構想について
5. 基本計画の方向性（案）
6. 第1回会議における意見交換の論点
7. 今後のスケジュール

(1) 設置の目的

多様な人々と地域がつながり、学びと共創を創出する地域力創造拠点施設の整備に向けた基本計画を策定するため、学識経験者や大学関係者をはじめ、地元関係者等で構成する懇話会を設置

(2) 検討事項

- ・ 地域力創造拠点施設の機能、規模、ゾーニング等に関する事項
- ・ 地域力創造拠点施設の整備及び運営に係る事業手法に関する事項 など

(3) 基本計画の内容

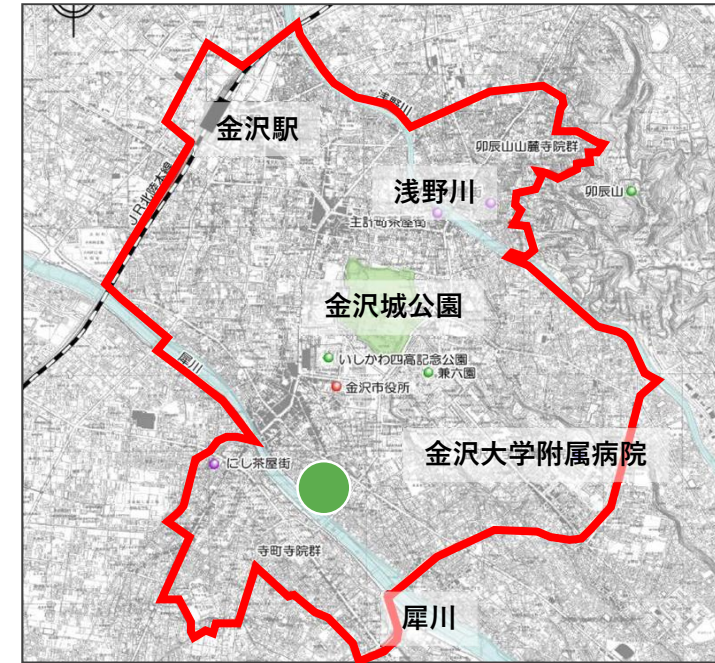
- ・ 施設の機能、規模、ゾーニング
- ・ 空間設計のイメージ
- ・ 施設の運営体制
- ・ 施設整備及び運営に係る事業手法

など、今後の施設整備に向けた具体的な方針を取りまとめ

2. 旧新豎町小学校跡地の概況

3

(1) 跡地の位置



中心市街地

旧新豎町小跡地

隣接する施設等

北側 新豎会館（新豎町公民館）

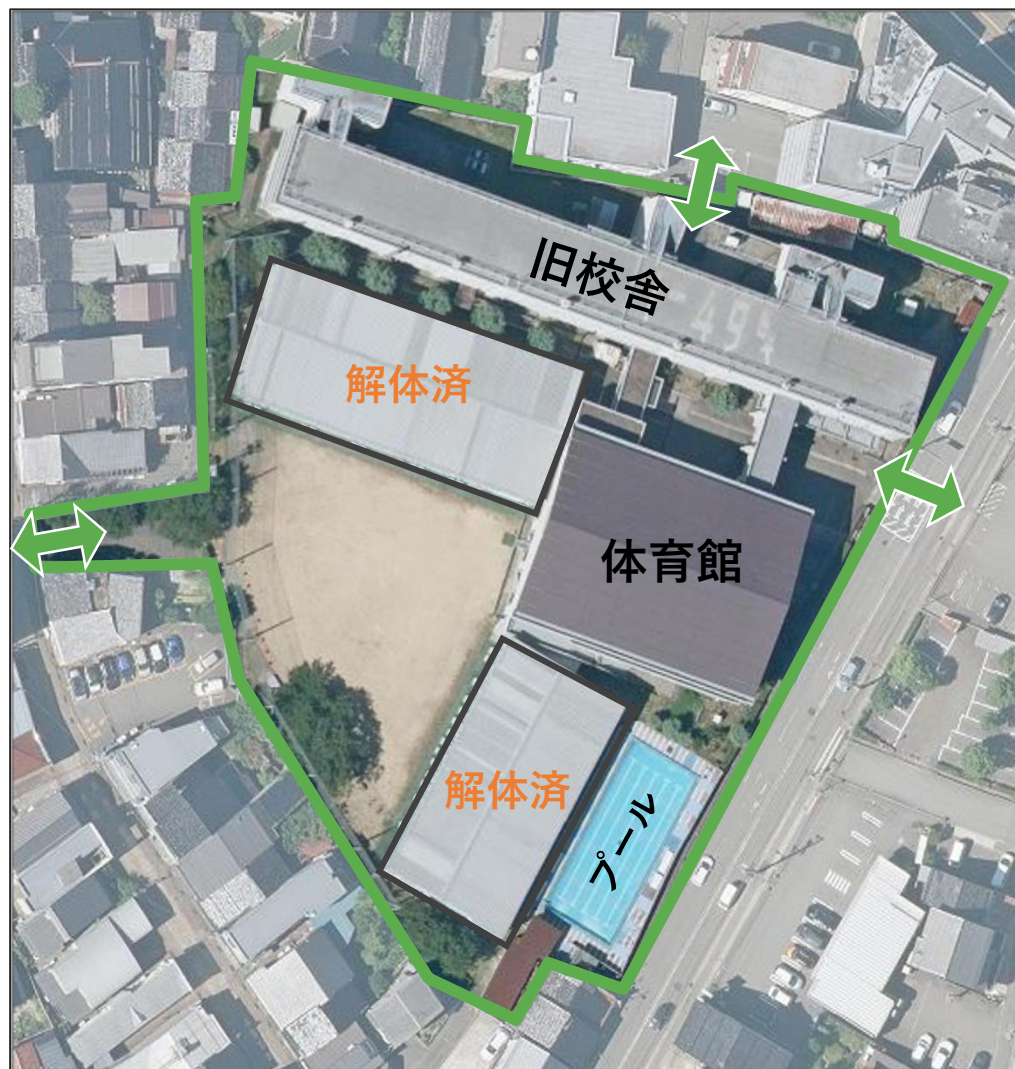
東側 本多通り（広坂・新桜坂線）を挟んで
石川県幸町庁舎

西側 新豎町商店街

2. 旧新豎町小学校跡地の概況

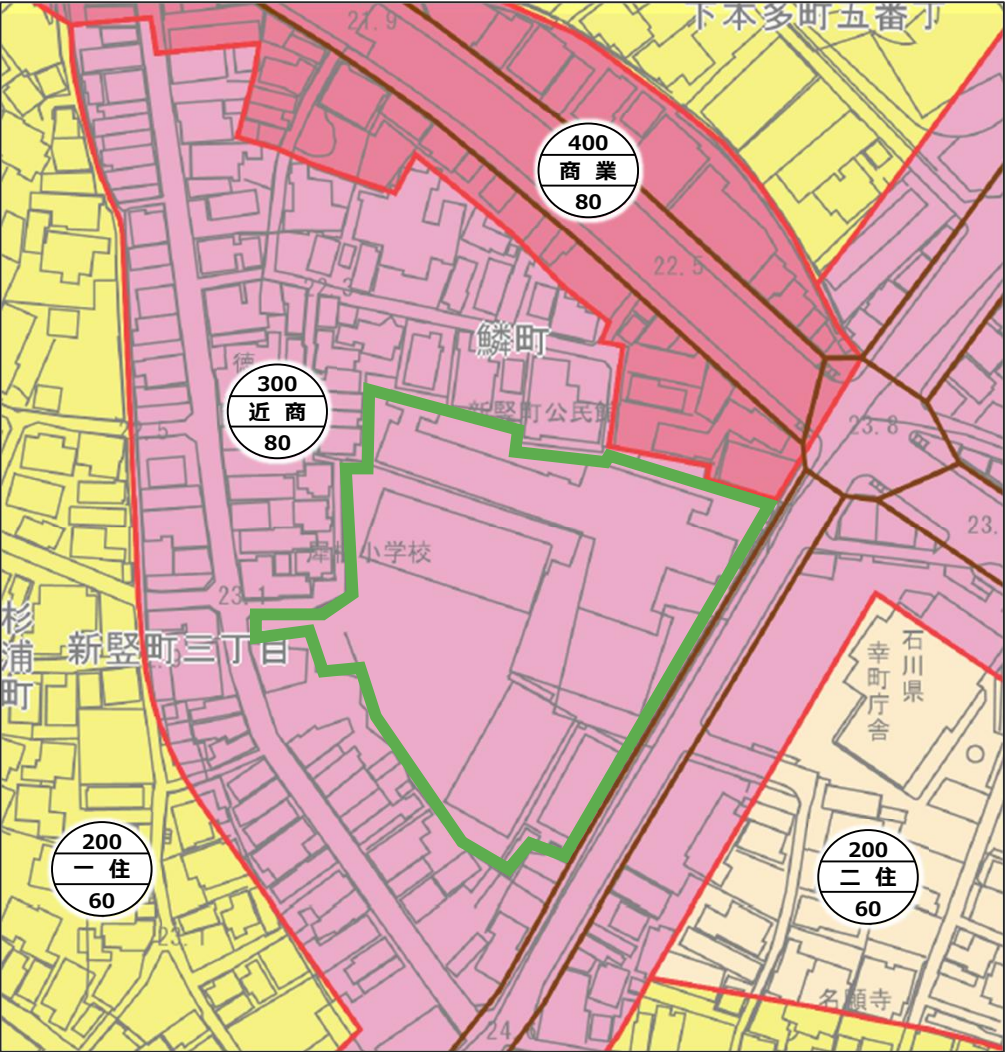
4

(2) 施設の状況 (土地・建物)



土地	地番	新豎町 3 丁目 25 番 1 ほか 15 筆
	面積	建物敷地 : 4,516 m ²
		運動場用地 : 4,663 m ²
		合計 : 9,179 m ²
旧校舎	接道 状況	①本多通り側 ②新豎町商店街側 ③新豎町会館側 計 3 箇所
	構造	鉄筋コンクリート造 4 階建
	延床 面積	4,526 m ²
	建築年	1960～63 年(昭和 35～38 年)
体育館	耐震性	未耐震 (旧耐震、改修無)
	構造	鉄筋コンクリート造 2 階建
	延床 面積	863 m ² (1 階ピロティ部分は床面積なし)
	建築年	1979 年(昭和 54 年)
	耐震性	補強済 (旧耐震、H21 一部改修)

(3) 法令等の状況



都市計画関連

用途地域	近隣商業地域
建ぺい率	80%
容積率	300%
高度地区	18m高度地区

防災関連

洪水浸水想定区域	犀川
想定災害規模	0.5m以上～3.0m未満
液状化危険度	低い
避難所	拠点避難所に指定
防災設備	備蓄倉庫、同報防災無線、防火水槽

2. 旧新豎町小学校跡地の概況

6

(4) 周辺環境

① 居住環境

- ・こまちなみ保存区域をはじめ、木造住宅が多い。
- ・遊具付きの公園や緑地がない。

② 商業環境

- ・新豎町商店街、豎町商店街をはじめ、個性豊かな商店街が賑わう。
- ・片町、香林坊の繁華街や大型商業施設にも近接している。

③ 自然環境

- ・犀川が人々の憩いの場となっており、近年では官民連携の河川敷の利活用促進も行われている。

④ 交通環境

- ・周辺には北鉄バス、金沢ふらっとバス等が運行している。
- ・東側の本多通りは歩道幅員が狭い。

⑤ 歴史文化遺産・文化施設

- ・本多町歴史文化ゾーンや寺町寺院群に近接している。
- ・金沢21世紀美術館など文化施設も多く立地している。



水溜町（こまちなみ保存区域）



新豎町商店街



犀川（桜並木）



松風閣庭園



本多通り（広坂・新桜坂線）歩道

(5) 立地特性



市の中心部に位置

- ・ 中心市街地内に位置
- ・ 集約都市形成計画上の都市機能誘導区域
- ・ 公共施設が集積

歴史文化遺産や文化施設が集積

- ・ 金沢21世紀美術館や本多町歴史文化ゾーン、寺町寺院群などに近接

商業環境と居住環境が調和

- ・ 片町、香林坊など商業の中心地に近接
- ・ 魅力的な商店街の背後には住宅地が広がる
- ・ 自然豊かな犀川に近接

地域だけでなく多様な人々が交流し、まち全体の活性化に資する場所

3. これまでの経緯

8

跡地利活用に関する主な経緯

地域の取組

市の取組

平成31年3月 閉校

令和2年

金沢大学丸谷研究室と共同で
「**新豎町地区未来像策定事業**」を実施
※金沢市地域コミュニティ活性化事業採択事業

新豎町地区未来像：3つの軸

1. 多様な人が活躍し、それを応援できるまち
2. 歩いて楽しい緑のまち
3. 日常の会話から新しいアイデアが生まれるまち

令和4年

新豎町地区各種団体連絡協議会が
「**跡地利活用に関する要望書**」を市へ提出

- ・大学等の教育実践施設の誘致
- ・住民交流の場の確保
- ・防災機能の強化 など

令和6年

部局横断のプロジェクトチームを設置し
跡地利活用に向けた本格的な検討を開始

主な意見

- ・子どもが遊べる空間
- ・多様な世代の交流促進 など

令和7年

旧新豎町小学校跡地整備基本構想検討懇話会を設置
新たな施設の整備に向けた**基本構想**を策定

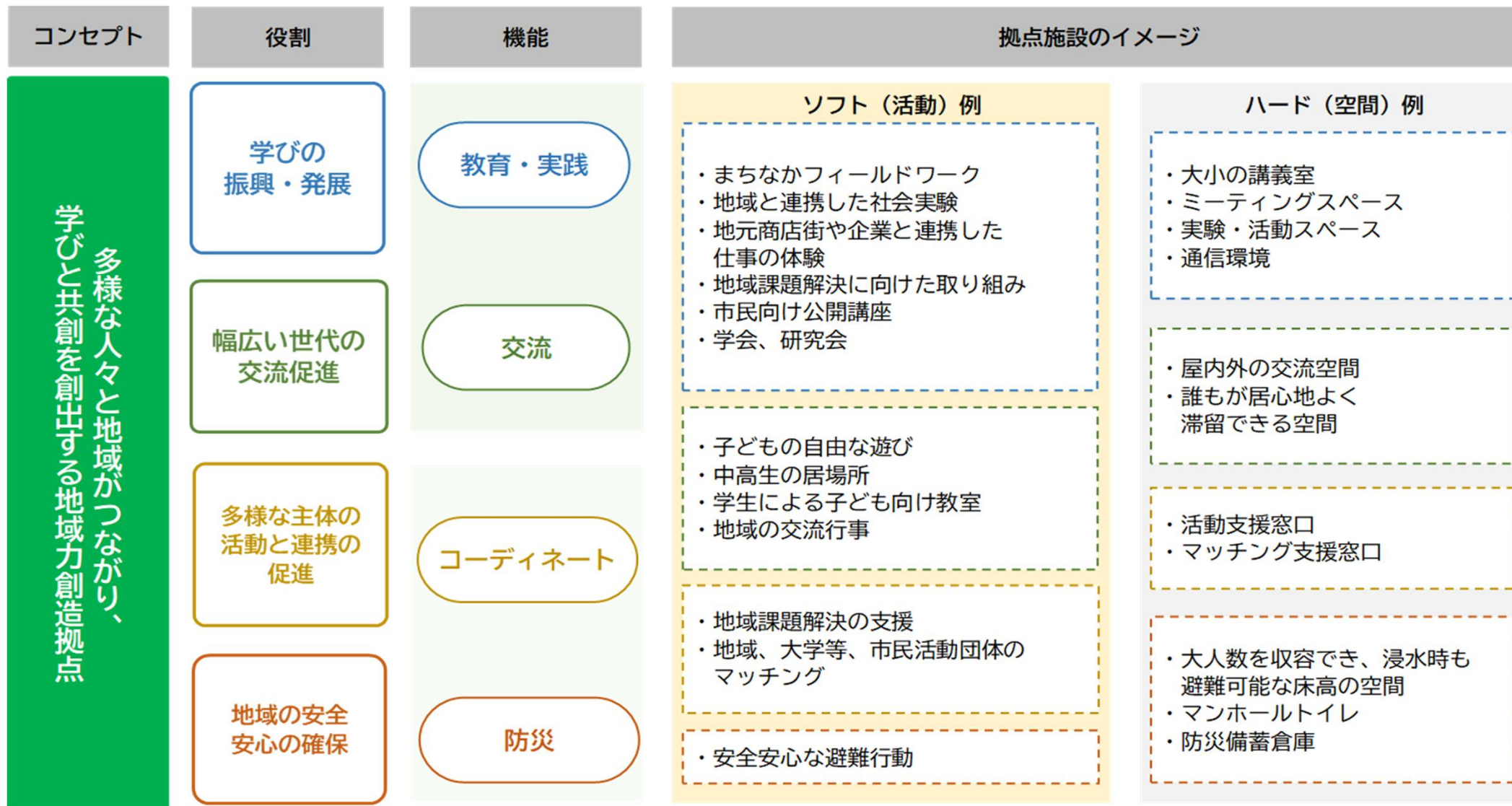
H31.4～R4.3
犀桜小学校
仮校舎

R4.4～R6.3
中央小学校
芳齋分校仮校舎

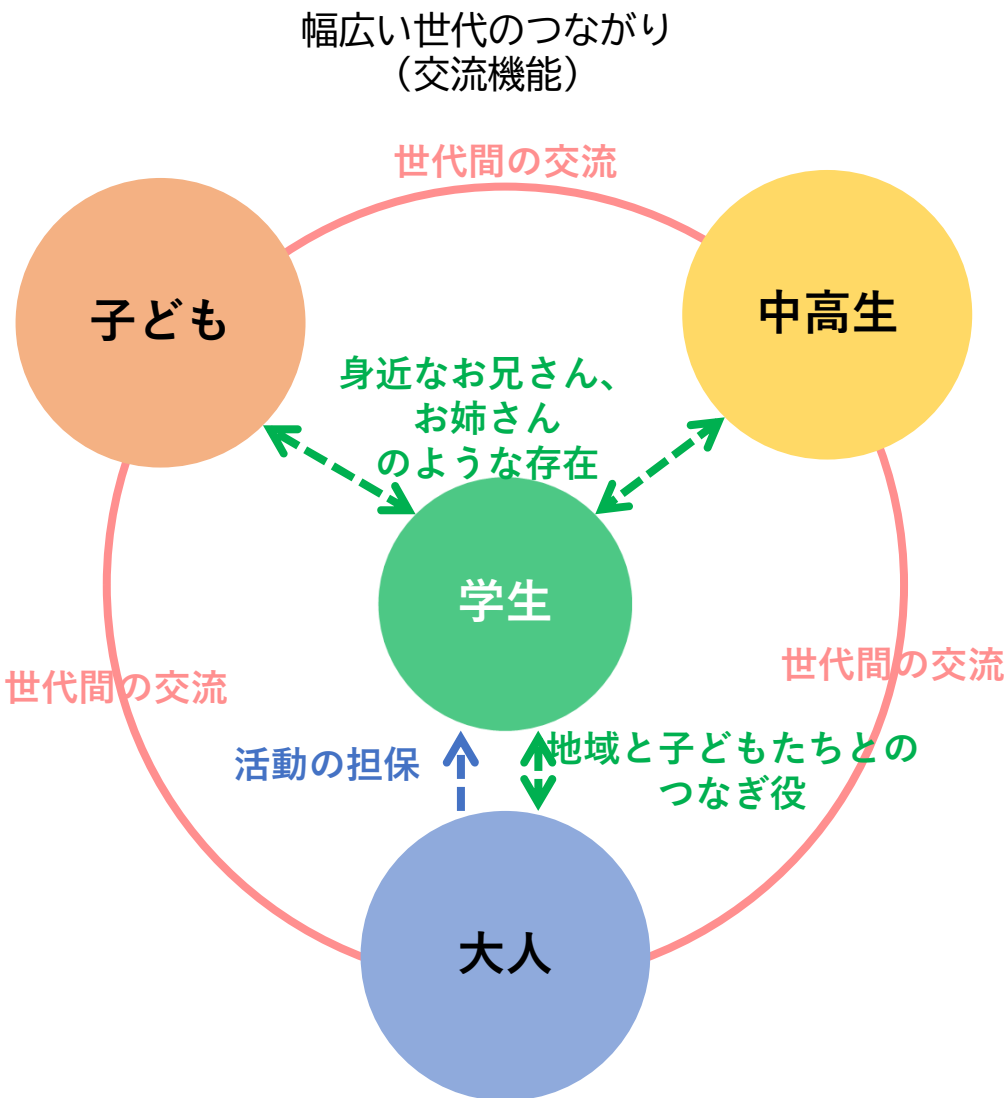
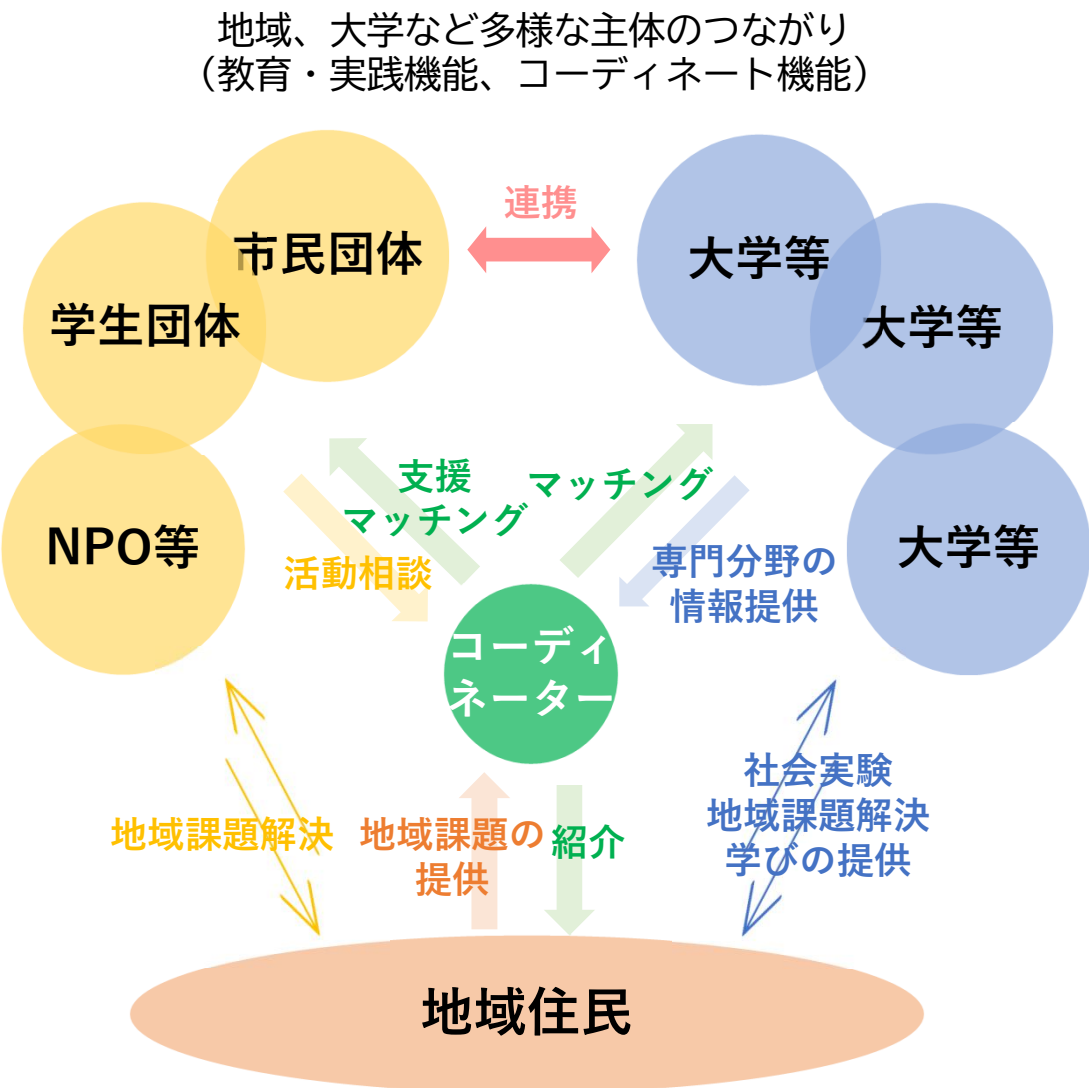
4. 基本構想について

9

(1) 全体像



(2) 拠点施設で生まれるつながりのイメージ



基本計画の策定にあたり検討する事項

1. 施設の機能、想定する活動と必要なスペース
2. 空間設計のイメージ
3. 施設の運営方針
4. 施設整備及び運営にかかる事業手法
5. 関連計画・事業との連携

1. 施設の機能、想定する活動と必要なスペース

- ・基本構想で示された機能をベースに、想定する活動と必要なスペースを検討
- ・大学等の活用を促進するため、各大学等のニーズを把握し、計画に反映

機能	想定される利用者	想定する活動	必要なスペース
① 教育・実践 大学等による学びの 振興・発展	・大学等 ・市民団体 ・学生団体 ・NPO ・地域住民 等	・講義、実習 ・まちなかでのフィールドワーク ・地域や企業との共同プロジェクトの実施 ・学会、研究会 ・大学等による市民向け講座 ・社会人教育、リカレント教育	・講義室、実習室 ・レンタルスペース ・会議室、ミーティングスペース ・チャレンジショップ等の出店スペース ・多目的ホール ・学生が長期滞在できるスペース
② 交流 幅広い世代の交流促進	・子ども・中高生 ・学生・社会人 ・子育て世代 ・シニア世代 ・来街者 等	・多様な主体の交流を促進するイベント ・地域の交流行事 ・子どもの自由な遊び ・中高生の居場所	・屋内の交流スペース ・屋外の交流スペース（広場、テラス） ・フリースペース ・ラウンジ（情報交換、休憩 等） ・カフェ
③ コーディネート 多様な主体の活動と 連携の促進	・すべての施設利用者	・地域課題解決の支援 ・大学等、地域、市民活動団体のマッチング	・活動支援窓口、マッチング支援窓口 ・ミーティングスペース ・事務室
④ 防災 地域の安全安心の確保	・地域住民 ・施設利用者	・災害時の避難所としての利用	・居住スペース、運営スペース ・防災備蓄倉庫 ・マンホールトイレ、かまどベンチ

（参考）『想定する活動』に関する事例

講義



駅前のサテライトキャンパスでの授業
（©兵庫大学 兵庫大学短期大学部）

まちなかでのフィールドワーク



地域課題解決型インターンシップ
（©金沢大学）

地域や企業との共同プロジェクトの実施



大学・企業の共同カリキュラムによる人材育成
（©金沢工業大学）

学会・研究会



大学等による研究会
（©日本大学工学部）

多様な主体の交流を促進するイベント



市民主体のまちづくりを促進する講座
（©こくぶんじカレッジ）

地域課題解決の支援



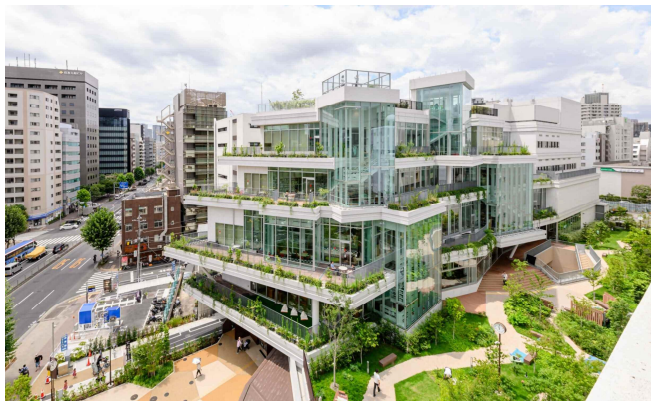
コミュニティマネージャーの活動
（©ATOMica）

2. 空間設計のイメージ

- ・ 大学等が教育・実践の場として活用できる空間・設備
- ・ 多様な人々と地域がつながることのできる自由に開かれた空間設計
- ・ 利用者や時間帯ごとに色々な使い方に対応できる空間設計
- ・ 周辺エリアとの回遊性の向上に寄与する敷地内の配置計画
- ・ 地域の防災力の向上に資する空間設計

（参考）空間設計等に関する他施設事例

自由で開かれた空間設計



本の森ちゅうおう（©（株）類設計室）
（東京都中央区）



＠東根市公益文化施設まなびあテラス
（山形県東根市）

周辺エリアとの回遊性の向上



おにクル（©ナカサアンドパートナーズ）
（大阪府茨木市）

教育・実践の場として活用できる空間・設備

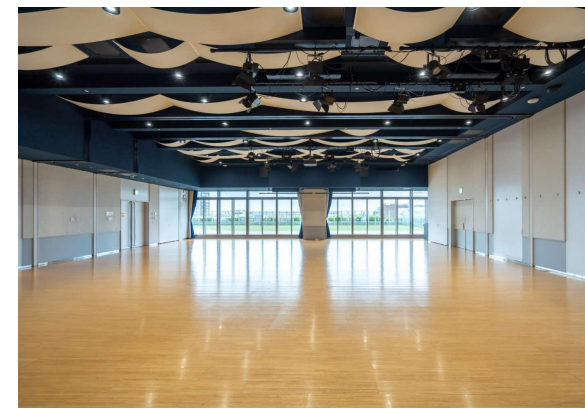


©千葉大学墨田サテライトキャンパス
（東京都墨田区）



©兵庫大学 兵庫大学短期大学部サテライトキャンパス
（兵庫県加古川市）

色々な使い方に対応できる空間設計



©国分寺市立cocobunji プラザ
（東京都国分寺市）

（参考）必要なスペースに関する他施設事例

講義室



©須賀川市民交流センターtette
(福島県須賀川市)

実習室



©須賀川市民交流センターtette
(福島県須賀川市)

多目的ホール



おにクル (©ナカサアンドパートナーズ)
(大阪府茨木市)

カフェ・ラウンジ



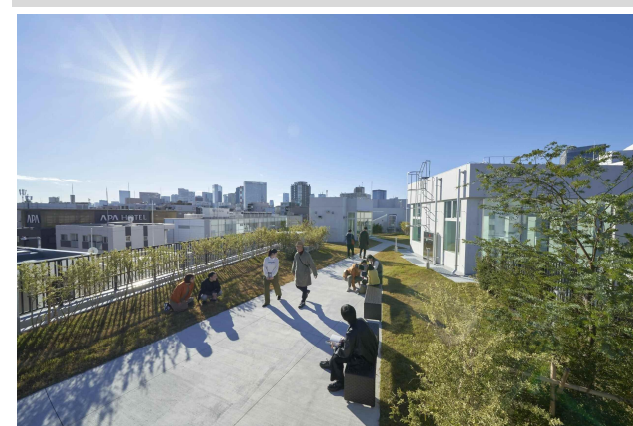
©大阪公立大学イノベーションアカデミー
(大阪府堺市)

屋内交流スペース



©大阪公立大学イノベーションアカデミー
(大阪府堺市)

屋外交流スペース



本の森ちゅうおう (©(株)類設計室)
(東京都中央区)

3. 施設の運営方針

- ・ 多様な主体をつなぎ合わせる コーディネーターの常駐
- ・ 様々な利用者層をターゲットにした イベント・プログラムの日常的な開催
- ・ オンライン・オフライン双方を活用した 効果的なプロモーションや情報発信の実施
- ・ 学生が運営に携わる仕組みの構築

施設の運営組織（イメージ）

コーディネート

- ・ 大学等と地域・各種団体のマッチング
- ・ 大学等へのアプローチ、大学等の施設利用支援
- ・ 地域課題の情報収集
- ・ 市民団体等からの相談受付、活動支援 等

企画・運営

- ・ 大学等と企業・地域の連携・交流を促進するイベント・プログラム
- ・ 施設における活動事例紹介、成果発表会
- ・ 多様な主体の交流を促進するワークショップ 等

広報

- ・ 施設の機能やイベントの情報発信
- ・ 活動事例などの情報発信 等

総務

- ・ 施設全体の運営マネジメント
- ・ 契約管理、予算執行、人材管理
- ・ 設備の保守、点検
- ・ 備品等の管理、更新 等

システム管理

- ・ 施設の予約システム、HPの管理
- ・ 施設運営DXの推進 等

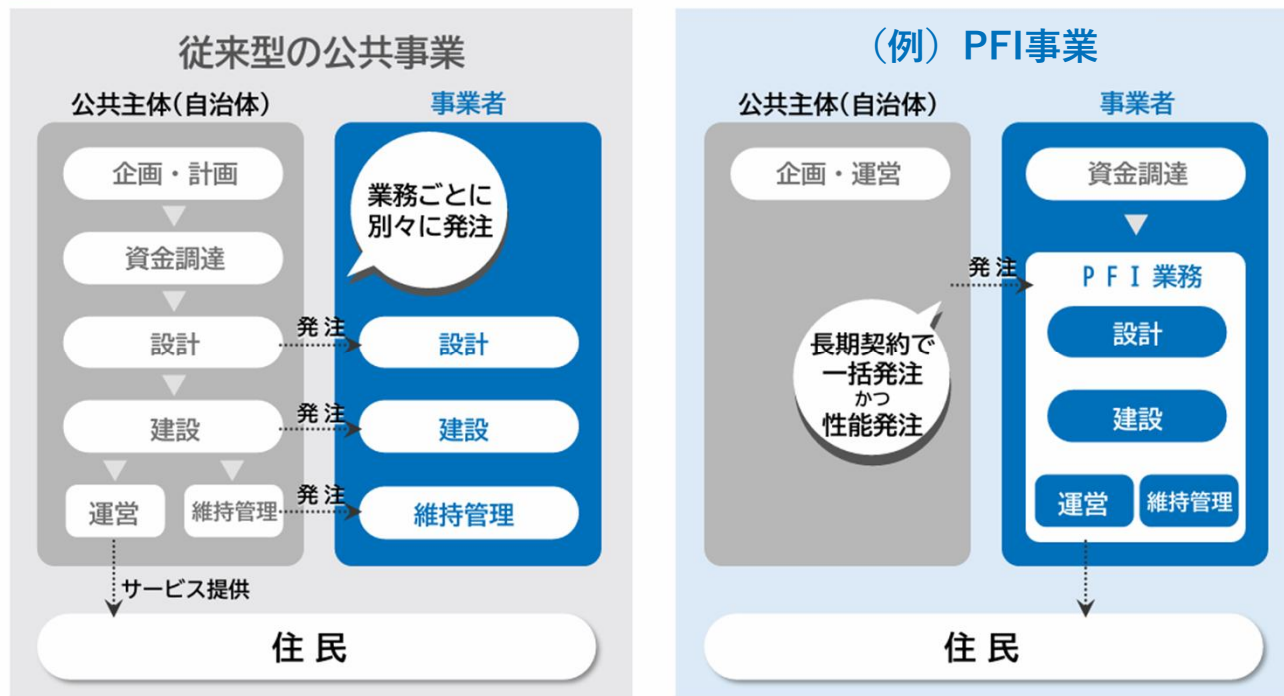
4. 施設整備及び運営にかかる事業手法

- ・ 自由で使いやすい空間設計や、多様な主体をつなぐコーディネート機能の導入など
- 効率的で魅力的な施設整備や運営の実現のため、民間活力（PPP/PFI）等の導入可能性を検討

PFI（Private Finance Initiative）とは

公共施設等の建設、維持管理、運営等を 民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用 して行う手法

（引用：内閣府 民間資金等活用事業推進室（PPP/PFI推進室）ウェブサイト）



（引用：金沢市PFI活用ガイドライン）

R8年度の予定

民間活力導入可能性調査の実施

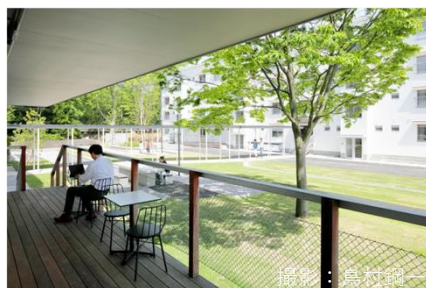
- ・ 事業スキームの検討
- ・ 事業手法の比較
- ・ 市場調査（※）
- ・ 財務負担軽減効果の検証

※ サウンディング型市場調査（8～9月）

民間事業者との意見交換等を通し、市場性の有無や事業アイデアなどを把握する

（参考）民間活力等の導入に関する他施設事例

SCOP TOYAMA



- ・旧県職員住宅を改修し、職住一体の施設として起業家や移住者を呼び込む、「ヒト・モノ・コト」が交流する拠点として整備
- ・コミュニティマネージャーが常駐し人と人を結びつける

事業主体 富山市（富山県）

施設概要 創業支援センター、創業・移住促進住宅

事業手法 整備：従来手法
運営：指定管理

にぎわいの里のいち カミーノ



- ・民間収益施設について、事業者提案により別棟で建設
- ・多機能の複合化により、子育て世代の増加などこれまで以上に様々な世代の市民が来訪・滞在

事業主体 野々市市（石川県）

施設概要 公民館、市民活動センター
民間収益施設 等

事業手法 PFI（BTM方式）
民間収益施設は定期借地権による貸付

5. 関連計画・事業との連携

・学生まちなか回帰推進プロジェクト（地域力再生課）

▶ 庁内横断の学生まちなか回帰推進プロジェクトチームの設置

1. 概要

学生等の若者をまちなかに呼び込み、賑わいを創出するとともに、まちへの愛着を醸成し、市内での定着を推進する方策を検討。

2. 検討事項

- （1）まちなかの活性化につながる「**学生のまちなか回帰**」の推進
- （2）金沢への愛着を高める「**学生と地域との共創**」の推進
- （3）大学卒業後も住み続ける「**学生の金沢定住**」の推進

5. 関連計画・事業との連携

・金沢市協働推進計画2026（市民協働推進課）

主な施策の展開（抜粋）

- ▶ 市民活動サポートセンターやボランティア大学校等による、地域活動・市民活動に興味のある人材の育成
- ▶ 市民活動と地域とのつながり創出・支援を目的とした交流拠点の機能充実

市民活動サポートセンター（金沢学生のまち市民交流館）

役割 町会その他の地域団体及び市民活動団体の活動への支援及び連携の促進により、市民活動団体等の活動の活性化及び地域コミュニティの充実を図る。

機能

- ・相談機能、情報発信
- ・連携促進、コーディネート機能
- ・研修、学習機能
- ・活動拠点機能 等

コーディネーターが中心となり地域活動・市民活動を支援



金沢ボランティア大学校（金沢市中央公民館彦三館）

役割 ボランティアに関する基本や幅広い視野を身につけ、多様な分野において、継続的にボランティアとして活躍できる人材を育成。

機能

- ・講義、実習等による人材育成
- ・ボランティア活動支援
- ・普及啓発イベント等の開催
- ・ボランティア募集情報の発信 等

幅広い世代を対象に、地域活動・市民活動の担い手を育成



- ・ 施設の機能、想定する活動と必要なスペースについて
(空間設計のイメージをふまえ)
- ・ 施設の運営方針について

(案)

第1回会議（本日）	基本計画の方向性
-----------	----------

第2回会議	施設の機能・規模案
-------	-----------

第3回会議	基本計画の骨子案
-------	----------

第4回会議	基本計画（案）
-------	---------

年度内	基本計画策定
-----	--------
